

徐 浩良（ハオリャン・シュウ）
国連開発計画（UNDP） 総裁代行 兼 副総裁

徐浩良（中国）は、2025年6月17日よりUNDPの総裁代行を務める。2023年6月には国連事務次長およびUNDP副総裁に任命。長年国連でキャリアと積んでいる。

2013年から2023年まで国連事務次長補として、UNDP総裁補 兼 政策・プログラム支援局長やアジア太平洋地域局長を務めた。

また、ニューヨークのUNDP欧州・独立国家共同体（CIS）地域局の副局長（2010～2013年）、カザフスタン常駐調整官 兼 UNDP常駐代表（2007～2010年）、パキスタン国事務所のカントリーディレクター（2005～2007年）、同国プログラム担当副常駐代表（2004～2005年）、東ティモールUNDP事務所のカントリーマネージャー兼上級副常駐代表（2002～2004年）、イランUNDP事務所の副常駐代表（2000～2002年）、ニューヨーク本部アジア太平洋局のプログラムマネージャー（1997～1999年）、カザフスタンUNDP事務所のプログラムオフィサー／ジュニアプロフェッショナルオフィサー（1995～1997年）など、数多くの要職を歴任。

同済大学で工学学士号を取得後、米国スティーブンス工科大学で経営学修士号、コロンビア大学で経済開発と政策分析を専攻する国際関係学修士号を取得。